

## 第 10 回

# 技術教育賞

本賞は、学校および社会教育における、  
自動車技術に関する人材育成・教育の向上発展を  
奨励することを目的として2009年に設置されました。  
今回は2件に授与いたします。

## 賞の概要

### 対象となる者

- 自動車に関する研究開発、技術創造、ものづくりなどにおいて、学生・生徒ならびに若手技術者を指導、育成し、優れた活動・成果をあげた個人若しくはグループ
- 技術者育成・人材育成プログラムの創設や教材開発および普及に貢献し、その功績が顕著な個人若しくはグループ

### 対象となる活動

- 自動車に関する学生創造活動に対する指導・支援
- 本会、各種団体、企業における自動車技術者育成事業の運営・推進
- 自動車に関する教育出版物の執筆、制作
- 学会誌等への技術者教育関連記事の執筆
- 新しい教育システム、教育プログラムの創設や技術者育成教育の啓発活動
- その他自動車に関する人材育成・教育の向上発展に貢献していると認められる活動

## 技術教育賞

### 小学生・親子向けの実験＋体験型プログラム 「くるま未来体験教室」を企画実施

自動車技術会関東支部社会活動

#### 受賞理由

受賞者は親子で参加する「くるま未来体験教室」として教室実験＋実車体験型のプログラムを立案・実施している。関東地区9県を中心に各地で出張教室を開催、新プログラムの開発・改善などを行いながら活動を重ねており、2006年度より12年間の参加者総数は約6000名となっている。特徴として、教室における学びと実車の体感をセットにした実学一体の学習構成にしている点と、親子での共通体験を通して記憶に残す点であり、自動車技術に対する興味の深化と将来エンジニアになることへの希望を「親子で抱いてもらおう」ことで、参加した親子が将来、進学や就職を検討する際にこの体験の記憶を呼び起こし、自動車技術エンジニアを志すことを期待している。

近年は関東地区以外の北海道や九州地区における開催や他支部からの視察や支援依頼にも対応し活動の展開拡大を行っている。

これらの活動は、児童および保護者への自動車技術の教育啓蒙として有益であり、次世代自動車エンジニアを育成する有効なプログラムである。

## 技術教育賞

### 自作スターリングエンジンによる自動車コンテストの 継続的開催

スターリングテクノラリー技術会

#### 受賞理由

受賞者は本プログラムにて、小学生から社会人を対象として、自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競う競技会を開催、青少年の工学に対する興味・関心の喚起とスターリング機器関連技術の発展、向上を図っている。本プログラムは1997年の第1回よりすでに22回開催、国内外を問わず幅広い層の参加を集めている。また、参加者の創造性の喚起と技術力の向上を促すため、直線路から周回路、水平平滑路面からレンガ敷路面、車両サイズの制約、高速度かつ多周回の要求、熱源の条件など、より厳しい条件となるよう創意工夫が施され、参加者の技術レベルを向上させている。さらに、講演や優秀作品図面の刊行などにより、参加者の土台作りを支援しつつ、新たな創造を喚起している。

20年を超える活動実績であるが、外部からの人的、経済的支援を受けず、受賞者の献身的な活動により自主的な運営を継続している。